

令和7年度 合志市中学校部活動地域展開 第5回検討委員会
議事録

1 日時 令和7年11月25日(火) 15時30分～

2 会場 合志市総合センター「ヴィーブル」研修室

① 開会

② 生涯学習課渡辺課長あいさつ

③ 議長選出

④ 協議

ア 今後のスケジュールについて

イ サポーターバンクの設置及びサポーターバンク設置要綱(案)について

ウ 「広報こうし」及びホームページの記事について

エ 学校・保護者への啓発メール(安心安全メール)について

オ その他

⑤ 閉会 ～17時

【渡辺】

日頃よりご協力いただきまして感謝申し上げます。国のほうも少しずつ中学校部活動に関して情報は出てきているかと思えます。一番大きいのは今年の5月の実行会議で、移行期間が、8年度から13年度までと定められたということで、8年度中に何らかの形で着手をして、13年度までに休日の部活動を、完全に移行するということです。少し延びたとはいえ、8年度は来年度になりますので、あつという間かと思えます。当然合志市のように大きいところは、すぐに、完全移行というのが難しいと思えますので、一年一年、できることを少しずつ話し合っていくながら、少しずつ移行して行くという形を取っていく必要があるのかなと思えます。

また、それを受けまして合志市でもすでに説明しています通り、「学校とまちの部活動」ということで、学校と市民の方と行政の方で、協力し合って新しい部活動という形を作っていきますということなんです。

大枠の方の、説明はこれまでしてきた通りでございます。この後、説明があるかと思えます。サポーターバンクの設置や、広報こうしで宣伝を行い、具体的に進めていきたいと思っております。特に一番大きなこのサポーターバンクの設置ということで、人材バンクの方の設置をしたい。いよいよ本格的に進めていきたいと思えます。実際運用は来年の4月からということになるのですが、先行して今、制度といいますか、中身を少しずつ作っていったらいいのでこの後、どういうふうにしてそれを注視していくか、まずは、学校の先生方とまた保護者の皆様に周知をしてそれから広報とかホームページ上で募集をかけていきたいと思っておりますので、具体的な中身についてはこれから説明があるかと思えます。まずはしっかり皆様と保護者の方と、説明をしっかりと差し上げて当然、了解をいただいてから世に出したいと思っておりますので、今日後ほど説明を聞いていただいているいろいろご意見があるかと思えます。その辺はしっかり出していただけたらと思えますので、よろしくお願いいたします。今日は、そういったところで今までよりもだいぶ中身の濃い会議になるかなと思えますので、皆様のご意見の方、いただけたらなと思えますので、よろしくお願いいたします。今日はよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして議長選出になりますが、どなたか議長をお願いできませんか。

なければ事務局の方で選出してよろしいですか。では、高本先生お願いします。

【議長】

こんにちは。御指名ですので私の方で議長を務めさせていただきます。皆様方のご協力でスムーズに友好的話し合いができることをお願いします。

さっそく、協議の方に入ってまいります。アからお願いします。

【事務局】

こんにちは。お世話になります。クラブこうしの村田と申します。

まず、今後のスケジュールについて説明させていただきます。ページを 1 枚めくっていただきますと、一覧として付けてございます。一番上の説明の方が、周知になります。

今回の「学校とまちの部活動」を皆様にご覧いただき、どのように進めていくかという形で資料を 11 月、10 月ぐらいからずっと作りまして今回、ここで皆さんに見ていただいて、12 月に安心安全メールに載せて保護者、部活動の皆さんにもお知らせしていく。1 月に広報こうしにて全戸配付。市民の皆さんにお知らせするという形をとっております。続きまして 2 段目の方がアプリです。

こちらが以前も一度ご説明させていただいたかと思うのですが、こちらをモデル事業として、モデル事業と言いますかモデル部を決めましてまず試運転をしてみましようと言うところになっております。こちらの方が、1 月ぐらいいままでに部活動の部員数だったり、外部指導者だったりどの様な事業が必要かっていうのをこちらで洗い出してモデル部を決定して、こちらの検討委員会にお諮りして決めていってこのまま 4 月からプレで運営できるような形を取っていく予定になります。人材バンクですねこちらが遅くなって申し訳ないです。12月にチラシ配布と同時に募集開始します。まず今外部指導者として入っていただいている方が24名いらっしゃいますのでその方々にまず説明して登録していただいているという形を取っていきたいと考えております。検討委員会の方、本日 11 月25日が第 5 回検討委員会です。続きまして、1 月の末あたりに第 6 回検討委員会を行います。こちらが実証事業を行うための、こちらの案の方をここで提示させていただいて、皆様と実証事業についてお話し合いと、答申です。3 月末に答申を教育長の方にお出しすることになりますので、そちらについて話す予定になっております。第 7 回の方が最終となります。今年度最終の検討委員会をここで行って 3 月中旬には教育長の方に答申として出させていただきます。実証事業をこちらの方がもうそろそろ国の方から要綱の方が出てきます。これ一応毎年来ておりましてもうそろそろ来て、ちょっと内容が変わるかもしれないという話が、国からもおりにきています。そこで申請書を作成して検討委員会で皆様にご説明して補助金の申請をして 4 月からそれについて動いていきたいと考えております。以上です。

【議長】

今の説明でご質問とかありますか。ご意見、ご質問。

いよいよ来週からですね。もう来月からスタートするみたいですが。

【事務局】

あの補足です。

【議長】

はい。

【事務局】

アプリのモデル部といいますかモデルの部はだいたい 2 つの部を考えております。沢山部員数が確保しているところと、そこに外部指導者が、おられる部を選びたいと思いますので、そのうち校長先生の方には、ご相談に行かせてもらいますので、よろしくお願いします。

【議長】

何かありませんか。大丈夫ですか。中学校の校長先生方大丈夫でしょうか。ぜひ、うちがモデル部になりたいとかあったら事務局の方に言っていたかと助かるのではないかなと思います。今からですね。また相談があるかと思しますのでよろしくお願いいたします。次ですね。サポーターバンクの設置及びサポーターバンクの設置要綱についてお願いします。

【事務局】

先ほどもありましたように、まずは人材バンクです。外部指導者の人材バンクを早急に立ち上げて中身を充実させていかなければいけないということで、まずは4枚目の合志市中学校地域サポーターバンク設置要綱(案)をご覧ください。一応これは(案)ですので本会議で諮りまして了解を得て12月の教育委員会議の方で諮りたいと思っております。それまでにお気づきの点がございましたら、事務局の方にご連絡いただければ、修正あたりもききますので、よろしくお願いします。全部は読みませんので、まず簡単にご紹介させていただきます。

目的第一条、この要綱は、本市における、中学校部活動の地域連携や地域展開の推進に向け、地域クラブ活動における指導の担い手、確保を図るためスポーツ・文化芸術活動の実技に精通し、安全な指導ができる人材を登録する。合志市中学校部活動地域サポーターバンク以下、「サポーターバンク」というに関し、必要な事項を定めるものとする。その後登録の要件がそこに書いてあります。まずカッコ1から 4 までのすべての条件を満たすものとして、そこに書いてあるとおりです。続きまして第二項として、先生方にも充分入っていただくこととなりますので、先生方の要件をそこに書いております。カッコ 1 から 3 までを先生方の要件という形で、入れております。続きまして、第3条が運用の方法です。サポーターバンクへの登録の方法とかその辺を書いてあります。第 4 条が研修です。サポーターバンク登録者の資質向上、外部指導、地域指導者の資質向上や指導に必要な知識や技能等について、研修及び講習会を関係協会と実施するところで、特に体罰とかセクハラあたりの研修というのは、やっていかななくていけないと思っております。あとは個人情報の保護とかその他要綱のことに関しては市教育委員会が別に定めるところでしております。この要綱は、公布の日から適用するとしています。

サポーターバンクについては以上です。

【議長】

サポーターバンクについて要綱について何かご質問等ありませんか。

【委員】

すいません。確認ですが、大きな2番の教職員で次の1から3までに書いてあるところですが、これはそのどれかを満たしていれば OK ということですよ。全部を満たさなくてはいけないということではないということですね。

【事務局】

上のかっこ1からかっこ2までは全てを満たさなくてはいけない。教職員に関してはかっこ1から3の3つのうちからどれかということですのでしております。

【議長】

ほかにありませんでしょうか。

【委員】

同じ2番のところで教職員のところですね。これは先ほどの話で行くと土日の活動に関してというところでいいですかね。通常、学校の方で部活動の担当を決めていくのですけれども。

【事務局】

外部指導者として登録して頂いた先生方という形になります。

【委員】

重ねて質問です。熊本市とかでは、令和8年度からということで実際にアンケートを取って部活動をするかしないかというデータを取られたと聞いているのですが、これは教職員全員が登録しなければいけないことなのか。

【事務局】

任意です。

事前のアンケートでもやりたいという先生もおられましたのでその先生方に対してのということです。

【議長】

一応今のところで人材バンクは休日、祝日等について地域移行というところからスタートということですね。今の地域に戻すということは平日、教職員の部活を続けながら休日、祝日等を社会人とか先生方の指導者とかで地域クラブに返すということですから、一応今の話し合いの中では、休日祝日をどうするか。普通の平日は教職員で部活動が続けるという形で。

【事務局】

すいません少し話がずれてきたみたいです。ご説明させていただきます。前回の会議のところでご説明させていただいているかと思えます。段階を追ってステップを踏んでいきましょう。まずは先生方に関しては、しばらくはそのまま先生としてお願いしますということをお伝えしているかと思えます。

最初はまず地域の指導者を、これはもうあくまでも地域の方を登録させるものです。登録していただいて、まず今の部活に「1人」地域指導者をつけていきましょう、それが来年行うこととなります。その次の年に、今度は週末。そのもう1つ先になった時に、学校の先生方にも週末に対し

て謝金を発生させましょう。その時初めて地域展開という形で完全地域移行しましょうという話なので、まずそこが整うまでは、先生方は現状のままの体制で地域指導者を1人ずつつけて、先生たちの負担は少しでも軽くして行きましょうという形を取りながら、そのままの形でお願いするということなので、先生方に関してはまだこれに登録という形ではないです。これはあくまでも地域の方をまず登録するものになります。

【委員】

小学校の教員はどうするのでしょうか。

【事務局】

小学校の先生はこちらから登録いただけます。

中学校の先生方は、今のまま指導の方受け持っていていただき、事務の方についていただいている先生とかもいらっしゃるかと思うので、そのままの形をしばらくはお願いします。それを、だんだん地域指導者の方を、広げていき先生方の負担をどんどんまずまず取っていきましょう。少なくして行きましょうという動き方です。まずは地域の方からの指導ですね。

【議長】

ということは、平日に地域の方が入ると手当が発生するというわけですね。

【事務局】

そうですね。地域の方に関しては、全て週末だろうが、平日だろうが手当が部活の方から受益者負担として、発生させましょうと。先生方に関しては、今のところ平日はもうちょっとそのまま先生のお仕事として見ていただく感じにはなってしまいます。週末に関しては、先生方は県からの補助ってというのですかね。手当というのですかね。

見ていただいてというのが、まずのスタートです。まずはっていうところですね。

【議長】

ということだそうですね。

【委員】

結局今年と学校側は変えないですね。変わらないってということですね。

【事務局】

変わらないです。

【委員】

それにプラス地域の方をできるところから配置していくという形ですね。

【事務局】

はい、そうです。

【委員】

次の年、転勤になりますよね。それを繰り返しちゃいますよね。

【事務局】

これが 9 年までにまず地域指導者だけ入れるか、それかもう 1 人サポーターとして入れるかというの、次のページですね。これがだんだんです。地域指導者が休日をメインで見て頂けるような状態を作っていくって令和 10 年からもう休日は、完全に先生方にも謝金を発生させて完全地域展開を目指して行きましょうという段階になっていきます。先生方に謝金が発生するというの、もう令和 10 年という予定です。もしかしたら早まるかもしれない。どうなるかはまだちょっとそこはわからない部分にはなります。すみません。

【議長】

前期は10年が最後ですよ。

【事務局】

前期の分の 10 年のところまでで、まず地域は完全に展開したいので、先生方にも謝金を発生して全部地域指導者として入っていただいて、週末は地域展開完了です。という形を持って行きたいと思っています。

【議長】

それだけの社会人が集まるか、それだけ人員が集まるかそこがやまですよ。他何かご意見等ありませんか。

【事務局】

一応、このチラシのこれをいたる箇所においたりとか、これで公募していこうと考えております。何か表面はもうパッと本当にサポーターバンクですよというお知らせになっておりましてこちらのご登録は、こちらからというホームの内容が今置かせていただいたこちらの用紙になります。ここのホームの内容がこちらです。指導者バンクの登録ホームです。こちらの下の部分に関しては、生涯学習課のホームページ。ここで行われ地域展開のことについてまた後で説明があります。専門的なホームページを立ち上げますので、そこのお知らせが一番下になります。この裏になりますが、ここがすごく悩んで作った部分になりまして、皆様に見ていただいて、何か気になる点や、ここ分かりにくいんじゃないのではないかとこのところをご意見いただけますと、またそこを修正してわかりやすいものが作り直せるのではないかと思います。しっかり見ていただいて、何かご意見をお願いいたします。

【委員】

表面の地域サポーターバンクとはなにか。というのは付け加える予定でしょうか。初めて見た人にはよくわからない。何をするのか、指導をすることなのか。

【事務局】

この説明がこちらに来るのですが・・・どうですか裏を見ていただいて作らせていただいております。

【委員】

裏を見る前に作った方がいいのではないですか。

【事務局】

これ、基本のベースが県のサポーターバンクを参考にして作らせていただいておりますがこのように感じて作っております。どういうふうがわかりやすいですか？ この辺に文言があった方がいいですか。中学校部活動と入れているのでわかるかなという話にはなったのですが、最初は地域指導者バンクで、大きく見出しを付けていましたが、その指導だけではなくサポートをしていただく方も募集したいという思いから、地域サポーターバンクという形に変更させていただいています。

【委員】

指導者バンクといわれるとレベルが上がるのですよね。実際に技術的なことを指導しなくてはいけないとか、サポーターバンクというものは、指導はできないけれど応援程度なら、お手伝いだったらというようなニュアンスかなというふうに思います。

何かいい案ありますか。

【事務局】

これ 1枚で市民センターなどに置こうと思うのですが、気になる方は裏面をみていただくと内容がわかるという形なのですが。

【委員】

張り出しますか。

表も裏も並べて張り出すといいのでは。

【事務局】

ホームページの方には、一応ちょっと詳しく書いており、広報の次の次。Q&A っていうページの1個手前の用紙になるのですが、地域の中には、これまでの経験や得意分野をいかして、子どもたちの活動を支えたい。指導に関わってみたいという方がたくさんいらっしゃいます。そうした皆さんに登録していただく仕組みが合志市版中学校部活動地域サポーターバンクです。この文章を入れた方がいいですか。どうでしょう。

【委員】

地域サポーターバンクだとなにを求められているかわかりづらいということで、ここに書かれてみてこれまで経験や得意分野をいかして、子供たちの活動を支えたいという人を募集します。表にあった方が確かにわかりやすいなと感じました。

【事務局】

そうですね。わかっている目で見るとわからなくなりますよね。

【渡辺】

地域展開をするにあたって募集を行うというのがこれだと、今の部活動のお手伝いをするのか、地域展開をするからというのが何で今募集しなければいけないというのが伝わりにくいのかもかもしれません。表だけ見たら。

【議長】

こどもが中学校とかいるご家庭は分かるかもしれないけど全く関係のないところは、ピンと来ないかもしれないですね。

【事務局】

この裏面にある合志市では、令和 8 年度から公立中学校の部活動を段階的に地域展開に移行することを進めています。裏にある文を前の方のトップに持ってきて、先ほどのようなこのこどもたちの活動を支えたい人とか、こういう人たちを募集するというのを、もう少し入れてあげると、パッと見て、皆さん全然わからない方でもイメージが湧きますかね。どうですか。

【委員】

全体的に募集するのはこのくらいの頭だけでいいと思います。肝心なのは、登録しているのだから、ここにクリックマークを付けて、この地域サポーターバンクは何か知りたい人はクリックしてもらって、わかる人は募集だけ見ればよいのではないかと。要はこの登録者募集がメインなのでこれでいいのではないかと思います。何か気になる人はクリックマークから飛んでわかればいいと思います。ホームページの作り方に関してはこれでよいのかなと思います。

【事務局】

チラシになるので、どうしてもパッと見て、今全然これに関わっていない方が見てわかるかというところですよ。

【渡辺】

一番目に入るのは当然表というか、多分表しか見ない方がいらっしやると思います。パッとみてわかるようにした方がいいですね。

【委員】

紙だと2枚表裏並べて置くのがいいと思います。

【議長】

文字が多くなるとどうしても読む気になりませんよね。

【渡辺】

少し文字など削ってわかりやすくしていきましょう。
地域展開に向けた、そこにつながるというのがわかる

【事務局】

地域展開と言うのとこういう人を募集しているというのがわかるようにしましょう。裏に関してはいかがですか。ここがカテゴリーです。メインで指導したい方なのか、指導者の補助・サブがいいのか、それとも運営サポーターでという形で募集しますというところで書いてます。ここはもう流れになります。一番下が部活動の一覧です。令和 7 年度現在の一覧を添付している感じにしてありますが裏はいかがでしょうか。この感じで良いですか。

【委員】

質問ですが、裏面の謝金は市で一律に定めておりません。希望額を設定して頂きというのは、これは具体的にどういうことなのでしょう。ということと、お金は集めるのですかね。生徒か保護者かということに来年からするという、部活動であってもということですか。

【事務局】

地域指導者に対しての謝金は、部活の方で受益者負担になるので。

【委員】

誰が決めるのですか。保護者と契約するのですか。

【事務局】

部活動の保護者と外部指導者ですね。条件を合わせていただいて、そこで合えばその条件でいくということです。

【委員】

保護者というと、保護者会ですか。

【事務局】

部活動の保護者会です。保護者の方が負担になる。

【委員】

教員はその時には別についていなくてもよいということですか。

【事務局】

保護者会の中で、「全国に絶対行きたいうちのチームは」という保護者の思いがあるじゃないですか。そうなったらすごいアスリートの外部指導者を探してほしいというので、一致したとします。すると、人材バンクにそういう人が登録してある人に対して、じゃあうちは、その人をお願いします。ただ、こっちも謝金が一律ではないので、これぐらいの金額になりますよっていうところで、ここの部活動の方が受益者負担で、みんなで、割って払うようなイメージになるので、お互いが納得した上で、そこでマッチングを成立させるというイメージです。

【委員】

学校が先生を入らなくていいのかな。

揉めそうな気がします。基準が全くなく、現実的なのかなという。

【事務局】

先生方にいろいろ聞いて、周らせていただいたことがあったじゃないですか。その時に聞いたところでもらいたくないという先生もいらっしゃいます。

先生だったり、外部指導者の方だったり。もらうと、勝ちにこだわらないといけなくなるからいらないよという人もいらっしゃいました。でも、今度逆にいや、お金もらわんとやってられないという先生もいらっしゃいました。もう本当にいろんな意見があるので一律に 1600 円、県の方の定めた 1600 円に 一律にじゃあしようとした時に人材バンクは実際に潤わないですよというところ

でだから、お互いに部活動の方もいろんな考えがある。

そんなに勝ちたいわけじゃない、子供たちが動けばいい。楽しくさせてほしい。だから、見守ってほしいという方はそんなに高い指導料は払いたくないじゃないですか、実際。本当いろんな考えをマッチングさせるために、こういう形でいかがですかというところで、前回前々回とずっとお話をさせてきていただいたと思います。

それで、こういう形で進めていかせてくださいというお話を、今に至っているところだと思うのですが、いかがですか。

【委員】

マッチングすればいいわけですからね。

タダでいいという指導者がいればタダでいいというわけですから。でも、謝金が必要というところがあれば謝金は保護者会で分担して月にいくらという形でやっていくということで。やり方で変わっていきますからね。

【議長】

中学校の先生方いかがですか。

【事務局】

〇〇先生がご心配されているところは、そのマッチングという部分で合うときに学校としても入っていた方がよいいということですよ。

【委員】

いいけれども、揉めたくないなと思ひまして、保護者の方も一緒に、多分今部員でいらっしゃる方とかの中でも意見が分かれるのでわからなくなってしまうなと思います。

【委員】

やられていることはとてもありがたいです。

どうしても私たちが、今直面している課題っていうのはもう部活においてはとても思います。保護者もあの同じ合意形成を図るのも、とても難しい。やっぱり20人いればいやもう頑張ってもっと練習したい保護者もいれば、部活しないでしょ、しないでください。実は今年は2つほど合志中学校ではその対応にとっても追われているという現実があるのですよね。ですから、ここで例えば保護者会長さんが決めた。でもそれに反対する人もいて結局その方々のご意見というのは絶対学校にくるので、結局学校の方でやり直ししなければいけないというのが多分〇〇先生、私ども校長先生方も今、わからないこと正直なところ。ただ、すべて教員が入ってしまうと結局何も変わっていかないので、やっぱりこのようなことをやっていただきたいと思うし、1番心配しているのは集まらないのではないかと、というところが正直今、思っているところで実際、これだけの部活動なのでこれを1個1個で言ったら、相当な人数がいりますし、実際その外部指導者の方の人柄にもよるといっても、これも本音ですね。外部コーチの方もいろいろいらっしゃいますので、いかがなものかということも現実的にいらっしゃいます。あの言い方が申し訳ないのですが多分集まらなくて、教員のままで変えないといけなからそしたら当然「拠点校部活動」とか数を減らさないとまわっていかないので、一気に今年打ち出していかないといけなくて去年まで全然動いていませんでした。やっぱり何かしら数を減らして指導する方の募集者を減らしていかないと、実際問題とし

てうまくいかないという声が多いかなと思います。

熊本市ですらうまくいかなかったので、やっていることはとても価値があるのでこの形を進めていってどうなるかというところしっかり検討していかなければいけないかなと思います。以上です。

【渡辺】

当然ですね、すぐこの形が最初から全部活動でというふうには、当然考えていません。まずこちらからも意向調査という形で、部活動の方としっかり話し合いをしてそれはまた先生方とか顧問の先生とか、保護者の方を交えて話をしていくことになるのかなと思います。最初はしっかり話し合いをして、それからその間に同時進行で、この人材バンクを整えていってここの部活については、休日は地域の方にお願ひしましょう。と言うことになった時に初めてその人材バンクからこの人を選びましょうというような流れになってきます。いきなりその先生たちを無視して、マッチングをすとか、そういうことはありません。しっかりまずはそこを話し合っって段階を踏んでやっていきたいと思っています。

来年は、こう言いましたように、モデルで2部活ほど選ばせていただいて、実証事業という形ですたいと思っていますので、当然繰り返しますけど、しっかり話をし、どういった形でしょうかというモデル校でまずは、やっていきたいと思っています。そこで、こんな形になるのだからというのを、他の活動の方にも言っっていただいて同じような流れで、少しずつ進めていけたらと思っています。

【議長】

かなり、不安が大きいと思うのですよね。ただ進み始めているので、いい方法を探っていくしかないというふうに思っています。校長先生方特に苦情の受け手になるので不安の方が大きいと思うんですが。

必ず入るといっわけではないのですよね。来年は、2部活ということですよ。

【事務局】

まずは、全部活対象に地域指導者は募集をします。入っってうまくいけば、もうどんどん進めては行くのですが、本当におっしゃったように、やってみないとわからない。人材バンクを立ち上げてみないとこの先絶対こうできますというのはお約束できないのは、本音です。だから、人材バンクが全然揃いませんでした。

じゃあ、どうしようというの、多分次にまたここでかけることもあるかもしれないです。そうになった時に、今何もしない状態で、部活減らして下さいというの、絶対に不可能なことなので、いろんな手を打っ、じゃあこれもっという段階と思っただけとありがたいなと思います。いろんな試しでやってみて人材バンクが絶対成功しますっという。成功させたいです。せさせたいですけど、やっば皆さんが思われる通りなかなか中学生の指導に入っって難しいですよ。本当にやってみないとわからないっというのが本音です。やらせて下さい。

【渡辺】

スケジュールで言いました13年度、一応国が示しているので、その時点で休日の部活は移行して下さいっというふうに言われていますのでなんとか、そこに向けて一歩を踏み出すというふうな形で、当然これからは、紆余曲折があっっているいろいろ変わるかもしれないけどちょっとずつ着手して行くっという形でご理解いただけたらなと思います。

【委員】

すいません。別件ですがいいですか。

裏面の指導者カテゴリーの3番ですね。運営サポーター(見守り)と書いてあるのですが、これは実際の指導はされないということで、それなんとなくわかるのですが、具体的に1つ、2つ例があれば、例えば運営サポーターかつこの中に技術指導なしとか入れてもらってその下に指導なしと書いてあるところに本当に見守りですよ。それとも、会議に出るとかもし試合あの申し込みに行くとかですね。その辺の少し例を教えてくださいと、運営サポーターというのは、そういう仕事をするのだなというのは、ちょっとはわかりやすいかなというふうに思いました。

【事務局】

ありがとうございます。

【委員】

実際は何をされるのですかね。

【事務局】

基本イメージ的には、事務局とのやり取りも必要になってきますし、保護者をちょっと束ねてもらう方とか、指導は全然ないけど、一緒になって声かけをしてくださる方って部活動のメインの指導者が来るまでに、そういう方が1人いてくださると回るっていうのがあるじゃないですか。

野球部とか特にお父さんたちがちょっと早く来て、子どもたちと一緒にやってやるぞって言うような方。そういうイメージです。指導まで「監督が来た」のイメージの手前の感じですけどそこをうまくどのように表現しましょうかね。

【委員】

それは、指導者が来られないときに子どもたちを練習させてケガがないようにというときの見守りということですよ。

【事務局】

結構うちの、バスケのところとかも、親が交代で指導者が来られないときは、付いて子供たちが自主練をするのですよね。でも、子どもたちだけではできないからということで見守りということで、当番制でやっているのもそういうのも1つにはなるのかなと思います。具体例をここに入れましょうかね。

【委員】

先ほどから言われているマッチングのところのイメージが多分かなり分かりきれないと思うのですよね。何をそこで形成していくのかとか参加者が誰だとか、どういう流れで進めて、どこは誰が、この場でも決めるのか、後で協議するのかとかですね。ちょっとここなんか2つの部活で試される時でもいいのですが、なんとなくどういう流れなのか、具体的に示されないと保護者の後援会長さんの負担が大きくなって、後援会長になる人がいなくなってしまうと私は正直思っているの、例えば少なくとも、最初の2つの部活の時には事務局も入られて、そのやり取りをされるかですね。今後どういう形で、この合意形成を図っていくのかを、学校に丸投げは学校の立場的に難しいですよ。

【事務局】

入ります。

【委員】

多分皆さんそれをわかっていなかったと思うのですよね。そういうところを少し具体化して頂きマッチングのやり方はこういうやり方でいきますよというのを出示していただいて、またここで練らないと、学校にはかなり負担になって。だったら今のままでよかったのではないかとすると、一番先に進まないかなと思いますので、もう少し練られた方がいいかなと思います。

【議長】

ありがとうございます。

その意見についてご意見とかありますか。

【事務局】

この図がわかりにくいということですかね。

【委員】

具体的な本当の時にどのようなながれになるのかと思ひまして。その図に対してではなく実働するときに関して。

【委員】

それと絡んで、今年度から2つの部活動をピックアップしてということですが、マッチング合意形成の時にですね実際にお金の部分ですね。この辺も出てくると思うのですがそこはどうでしょうか。

お金がどれだけとか、この2つの部に配置される指導者に対してお金は払われるとか、払われなとか。合意形成のところで話は出てくるのかなと思うのですが。

【事務局】

そうですね。あつた状態で。

【事務局】

まず、事務局の方で面談してそこで指導時間などの条件を洗い出してそれで、部活に提案するというかたちで。そのなかで指導料といいますかそういうところも入ってくると思います。

【事務局】

イメージ的には、モデルを2つやりますよとさっきお話したのは、アプリを保護者さんに登録してもらったり、ここから謝金を払ってもらったりお金を集めたりとかあるのでこの部分に関して、あくまでも2つの部活でやって行きましょうということがモデルです。

この地域指導者を部活動に入れてという話に関しては全部活対象で行っていくので、結局登録します、「私は女子バスケットを教えたいです。」となったときにそこでマッチングおこないます。2つだけ今年は見ますという例ではないので。

そうなったときに「私は無償でやります。」と言ったらすんなりそのまま進んでいくという形です。あくまでもそこでお金を高く設定した場合に関して部活動の方が「いや、払えない」となるとこのマ

マッチングは成立しないので全部に対してチャレンジはしていきます。どこがどう当てはまるかはわからないので、例えば外部指導者が24名います。その方が年間2万円ぐらいでやっていただけていますよね。そのままいいと皆さんがおっしゃるのならそこはマッチングが成立したという形になるので深く考えずそれでマッチング成立というイメージです。

逆に外部指導者が入ってないところがあります先生は「もうやめたいです」と言われている部活動があります。そうなったときに必死に地域指導者を探します。そこで部活動の保護者さんは「勝ちに行きたいんだよ」と言っています。となるとアスリートの人を紹介します。このアスリートの方は「1回1万円じゃないとしません」と言ったとする。でも「勝ちたいけどそんな金額は払えない」となるとこのマッチングは失敗です。じゃあ次のちょっともう1人アスリートってこの人がいるのですよねとなってこの人を紹介してみます。「今回はちょっといいかも」となって成立するというイメージです。

【委員】

今は教員がいなくてできないけど後々地域指導者だけでOKになるということですか。

【事務局】

地域移行型部活動という形で市が認めれば大丈夫ということですね。

【委員】

今やっている人も今より負担が増えるということは説明しなければいけないですね。今は教員が見ているから外部指導者が見ているけど教員だけであなただけで責任取れますかということですね。そこはまた違うかなと思います。

【事務局】

「今の同じ状態で先生はつかなくなるかもしれませんよ」というのはちゃんとお伝えしながら、今の地域指導者の人にちゃんと説明しなければいけないということですよ。その時に続けないと言いつけられるかもしれない。

地域指導者が全然いないとなった場合には、うまくいきませんというのが現実になってくるので、次の手は何を使うのか部活を減らしましょうか、合同型にしましょうか、という提案が次に出せるということです。

部活動を減らしましょうというのはこちらからは言えないので。

【委員】

私も本音は合志中の部活動が一番多いので、生徒数の多い西南中よりも多いのでいきなりそれをやっても反発がある。合志市として合同部活動をやっていこうというのがあるとどーんといえるので。

【事務局】

あの手この手をやっての。じゃあといけるようになる。

【委員】

そうじゃないとうまくいかないと思う。

【事務局】

そのあたりも含めての提案です。

【事務局】

来年から 9 年にかけては休日だけを地域指導者にするもしくは、今の状態にプラス地域指導者をするっていうどちらかの形を取っていくので、この来年から休日が地域展開になってしまうっていうイメージではないのでお願いします。そこを誤解されると、話が違うように、進んでいくと思うのでまずはおそらく地域指導者をプラスして行くっていう形の方が多いと思います。実際、地域指導者の方だけを見ていらっしゃる部活もあったのでそういうところに関してはいきなり休日の地域展開を可能ではないかという部活も 53 部活のうち 1 つは思い当たる部活もあるので、こういうふうに書いてあります。という部分をわかっていただけるとありがたいです。学校はまだまだ絡んでいただきます。一緒に最善を考えてください。お願いします。

難しいですね。わかっていただけましたでしょうか。

【委員】

中学校の切実な問題。合志市のように児童の数が多い学校は課題が多ければ動くんですけど、熊本市、合志市は数が多いから。

【事務局】

県でも合志市の部活動のあり方というのは特別というか変わったあの形ですので、その中でどうか地域展開をやっていこうと模索しておりますので、とにかく一歩進めなければ始まりませんのでよろしくお願いします。

【議長】

まずはですね、いろいろと保護者さんとお話をするうちに問題点とかでてくると思いますので、それでまとめていただいておいて次回の時にまた諮っていただけたらと思います。広報こうしのホームページについて終わったみたいですね。

【事務局】

内容的には別です。今度 1 月、広報こうしに載ります。こちらが記事になります。

一応、全体市民の方に、パッと理解できるこれが一稿。広報こうしの今 1 回戻ってきた分の原稿になっております。こういう感じで説明を出そうと思っておりますが、何か気になられるところ等ございましたらお願いします。

今、合志市のホームページの方が中学部活動地域展開という形で、パッと見てわからないような状態になっているので今回、まとめたページというのを作成しています。中学校部活動地域展開についてというページとサポーターバンクについてというページについて立ち上げております。見てもらおうと一応この流れが全部わかるよというところですよ。

検討委員会の議事録とかをアップしていますが、もう 1 回見ようとするところに戻れないというのが現状にあるので、ページできちっとわかりやすくしていこうというところで、今回こういうのを作っております。ここを見るとわかるから見たらいいよというのを、先生方にも周知いただけるといいかなと思っております。その最後までもいっても大丈夫でしょうか。広報こうしホームページの記事ですね。

一番、最後に付けてあります。こちらが保護者対象に流すメールになります。どのような感じにしたら一番わかるのかなと部活説明に行ってどの手が一番いいのかなと。まずちょっと 1 回頭にずっと入れていただいて、その部活で質問等があれば、受けて足を運んでそこに説明に行こうと言うスタンスでいこうと思っております。今からスケジュールを組んで、1 個ずつ回っていくと最後の部活までに説明が全部行き届かないのではないかという趣旨からこういう安心安全メールで一氣にまず周知をしようということになっております。どうしても、字が多いのでどうですかね皆様。何か質問等ございましたらお願いします。

【委員】

一番、最後のページに触れてもいいですか。一番下の「中体連に参加できるのか」があるのですが、「合志市は地域移行型部活動としてメイン指導者が引率として出場することができます」という解釈が結構人それぞれで変わってくるかなと思っていて、例えば、今の中学、合志中、西合志中、西合志南中、楓の森中4つをこの形を残してそこに、休日クラブこうしが合志中、クラブ西合志、クラブ西合志南という形でその在籍の子だけだったら、多分問題はないと思うのですが、そこに別の中学校区の子が入ればこれはもう中体連には基本認められない。ここの解釈を間違われると結構マッチングの段階からつまずいてしまう可能性があるのかと思います。

例えば西合志中学校にバスケット部が、男子がないです。これを、合志市主催の主導になるのですが例えば西合志南と西合志中のバスケット男子は、拠点校としてやりますとかだったら、学校同士が拠点校として認めているので、そのチームで出ることは可能だと思います。ただ合志市として、認めていますとしてしまうと拠点校ではない形でクラブにすると、それは郡市予選からは多分出られないと思います。その場合は、もう県のクラブのから出場してくださいという状況になると思うので文言というよりも、共通認識ができていないと揉める原因になると思います。

【事務局】

イメージ的にはもともとの部活動をそのまま残します。週末だけ外部指導者が入ります。でも、活動は、今までの部活動です。すると合志市が、あなた方は地域移行型部活動ですよと宣言すれば、出場できると県の方から言われました。

【委員】

学校単位でなら大丈夫です。

【事務局】

基本は、そのままの部活動の形は残そうと思っているというのが伝わらないですよ。

【委員】

人によっては、解釈が間違ふとそう思っていなかったという。私が日頃監督をしていて外部コーチの方がいらっしゃるので私は監督ではなく、外部コーチの方を中心としたチームで本番出たいです。だったら監督が変わっただけで指導者が変わるだけなので問題はないと思います。そこに玉名地区なんかは、いだてん玉名というのに玉名中の子が入っていたりするのでそれをしてしまうと郡市大会から出ることができません。

【委員】

拠点校部活動だったら出ることはできますよ。いだてん玉名は、出ることができるんですよ。うち

の場合は、拠点校扱いにならないので1つの学校に人が集まってそこでチーム組んで出ましようということができないので、言われた通り学校単位で結局でなければならない。

【委員】

そうなったときに、わざわざ学校単位で出ることができるのにわざわざメイン指導者が引率として出るメリットがあるのかなというところですよ。例えばこのメイン指導者という外部コーチは私が監督であり教員で、隣のいらっしゃるコーチが、日頃から見ててそのままでればいいだけなので、わざわざそれをこの人を下げて、この人が監督で出るメリットというのがあるかどうかです。平日見てないからです。

そしたら、もう今までの中学校単位の出場と一緒にではないかと。

【事務局】

先生がついていないと出ることができないという話だったですよ。その形でも、地域指導者がメインで立っていてこの活動は、地域行型部活動だよと市が認めれば出ることができるという話です。

先生がいない状態でもです。

【委員】

それは、郡市中体連としてどうするかを決めるのですよ。菊池郡市として郡市予選から出ていいかどうかというのを決めるので、今菊池郡市自体は、そのクラブが、郡市予選から全く出てないです。それを合志市はとしてしまった時に、ほかの大津、菊陽も含めてですけど中体連として、それでオッケーするかどうかというところがあるので。

【事務局】

菊池郡市が決めることなのですね。

【委員】

県が決めることではないです。

今のままだと今のまま中学校で出ればで終わってしまうということがあって

【事務局】

地域指導者でも出ることができるかどうかもわからないということですか。じゃあ先生が例えば土日だけもう地域指導者が見えています。そうなった時に試合にこの地域指導者が連れて行くのは、今の時点では出ることができない。

【委員】

出ることはできないです。

その県大会の予選には出ることはできる、それになるとほかのところは寄せ集めのクラブが出てきている種目とかもあるのも同じカテゴリーで戦っていかないと、県大会行けないので、あまりメリットはないです。例えば郡市中体連で市としてこういう話が出ています。郡市中体連として認めますか郡市中体連として認めますであれば断言して書かれてもいいかなとおもいますが、まだその議論をしていないのでこれが先に出ちゃうと自分がメインで見ると気持ちでいた人が人材バンク

に登録してもメインではないんですよ、監督はほかにいるんですよ。という問題が発生してしまうのかと思うんで。

【事務局】

それっていうのは、いつの日にかわかることですかね。
話し合う予定というか、菊池郡市の中で。

【委員】

今度2月に各学校校長が集まる会はあってそこで議題に挙げてもいいですけど。

【委員】

まだ、現実的に具体的ではないので結局拠点校とか合同部活動にするというのはそこが実は、あってここにある文言を書かなくても今のイメージで今の学校が存続をする。ただ、教育関係を含めて土日に地域の指導者の方にきてもらうのを令和9年度までにやるという方向性だったと私は、解釈しております。中体連は、当然部活動の何部で出て監督は教員で外部指導者としてその方を登録すれば当然正規のルール等に出ることができる。

【事務局】

ここに関しては書かない方がよいということですね。
ありがとうございます。

【委員】

一番心配するのは、せっかく外部指導者になられた方が勝利至上主義でうまくいかなくなり制御が効かなくなるとトラブルの原因になります。

【議長】

それは、中学校ではないとわからないところですね。
ありがとうございます。ほかに何かお気付きとか

【委員】

Q&Aのカラーのページですが新しく地域で指導される方以外でも保護者の方興味をもって見られるかなと思います。移行スケジュールのところに地域展開に向けてと書いてあるのですがこれは、休日、週末地域展開ですよ。令和13年度の週末地域展開に向けて段階をおっていくということですかね。

【事務局】

休日をいれます。すいません。ありがとうございます。

【委員】

週末完全地域展開という言葉もQ&Aにあったりするので言葉の精査というのはとても大事なかなと思います。

【事務局】

統一します。

【委員】

移行スケジュールの国の方針ではという言葉でものすごく大事だなと思っておりまして、表面の部分を見たときに合志市では段階的に移行しますよという言葉を見たときに保護者の方から学校側に問い合わせがあるのかなと思ひまして、国が動くからいろんな地域が動いていく中で合志市ではこのような動きですよというのがあった方がとても見やすいなと思ひます。

【事務局】

ありがとうございます。

【委員】

週末。休日。土曜日は週末じゃないですもんね。

【事務局】

「地域展開が始まります」はいいですよ。

【事務局】

その間に国の動きを入れた方がよいということです。

【事務局】

土曜日は休日ではないということですね。

週末が正しいですか。

週末なのか休日なのかをしっかりと調べます。

【議長】

事務局の方で精査していただいてまた次の会議の時にお願いします。

他にありませんか。

【委員】

細かいところかもしれませんが、最後のページの上の方に始まりますと書いて、矢印がありその下に学校とまちの部活動への移行と学校とまちの部活動とはと書いてあるのですが「とは」の方が前かなと思ひます。順番を入れ替えた方がいいかなと思ひます。

それと、移行の中に書いてある3つの理由に点が打ってあって子どもたちの活動を守ること。

先生の負担を軽くすること。学校、地域、行政が協力してと、書いてあるのですがもしよければ、

2番目と3番目の順番をいれかえていただけたらと思うんですが。学校の先生が楽になるためといわれるとあれなので活動の場を守るというのが一番大事で、そのあとみんなで協力して子どもたちを支えるんですよと3番目に変えていただけたらありがたいです。

多分この順番で書いてあったのがもっと前にもあったのでよかったらここを修正するのであれば全体の修正もお願いします。

【議長】

先生の負担を軽くすると出していいものか。負担は、減らないような気がします。

【委員】

言葉があまりよくないかなと思います。働き方を見直すならまだいいかなと思います。

【渡辺】

広報に載せているじゃないですか教育長にお諮りしてその話題にも一応なったのですが、載せようという話に教育長は言われていましたけど。先生の負担を軽くするというのは、確かにそうだとすることで教育長はおっしゃっていました。

【委員】

逆に、そこまで載せないと地域の方とか保護者の方とかそこまで認識はされていないのではあります。保護者の方一部も「したい先生はいっぱいいるからもっとしてください」という声も実際にあります。

【事務局】

順番だけ入れ替えます。

【議長】

ありがとうございました。
他にありませんか。

【委員】

内容ということよりも、レイアウトの部分で細かくなってしまって申し訳ないですが、オレンジのところの文言のところですね○があるところがあったり、○がないところがあったり句読点のところですね。①のところは点があったりなかったりするので気になるなと思いました。

あと、裏面の最後のイラストでQ&Aがありますが、パッとみてどっちかにキャラクターを統一する。カラフル過ぎて混乱してしまいました。統一感があった方がすんなり入るのではないかと思います。

【事務局】

ありがとうございます。

【議長】

他にお気づきないですか。だいぶ時間がたってしまいましたがその他のところでご意見等がございましたらお願いします。

【事務局】

今お話して頂いたのを修正して、来週は12月で始動します。次の検討委員会が1月末からなので皆様の目に触れる前に動き出すという形でよろしいですか。

【議長】

意見は言ったからですな。

【事務局】

今お話しして頂いたのを修正して、動きだす。ということでよろしいですか。
ありがとうございます。

【事務局】

その他に関しましては次回の開催の予定日を決めようとおもっています。1月末は、中学校は入試あたりで忙しいですね。こちらの実証事業が固まってからと思っておりましたけども1月の中頃か2月に入ったら私立とか多いのでまた校長先生方にご相談します。

【議長】

また決まってからお願いします。

以上で議事の報告を終わりたいと思います。ありがとうございました。